

福井県衛生環境研究センター活動報告 概要

発表演題名	福井県におけるノロウイルス等の腸管系ウイルスの検出状況
発表学会名	平成 23 年度地方衛生研究所全国協議会 東海・北陸支部 微生物部会
発表者名	小和田和誠
開催場所	岐阜市
発表日時	平成 24 年 3 月 1 日
発表内容	<p>平成 23 年度(2011 年 4 月～2012 年 1 月)に、福井県内において集団発生および小児散発例から検出された腸管系ウイルスについて解析を行った。集団発生としては食中毒(疑い含む)もしくは不明感染症 10 事例に関連する 84 検体(有症者、調理従事者の糞便等)のうち陽性となった 5 事例 40 検体を、また小児散発例は感染性胃腸炎患者 21 検体の糞便のうち腸管系ウイルスが検出された 13 検体を対象とした。</p> <p>集団発生事例において推定される感染経路別内訳は、ヒト-ヒト感染(疑)事例が 4 事例、従事者による食品汚染(疑)事例が 1 事例であった。</p> <p>集団発生事例でノロウイルス(NV)陽性であった 4 事例の全てで Genogroup (G)が検出された。遺伝子型は G /4 が 3 事例、G /3・G /13 が各 1 事例であった。</p> <p>また、NV 陽性の不明感染症疑い事例で、NV が検出されなかった患者から C 群ロタウイルスが検出された事例があった。当初は発症要因が同一の事例と考えられていたが、異なるウイルスの検出により、発症要因の異なる 2 事例の存在が示唆された。</p> <p>小児散発例については、県内の小児科 4 医療機関にウイルス性を疑う急性胃腸炎患者糞便採取を依頼し、21 名の糞便を検査した。その結果、ノロウイルス(G) 4 名、A 群ロタウイルス 4 名、サポウイルス 2 名、腸管系アデノウイルス 2 名およびエンテロウイルス 1 名が陽性であった。検出されたノロウイルスの遺伝子型は G /2・G /3・G /4・G /13 が各 1 名であった。</p>